

# 大事協だより

大島地区公立小・中学校  
事務職員協会 研修部  
第46号  
2014年10月31日発行

## <各地区からの便り>

今回の原稿は、①和泊町②宇検村③奄美市東部ブロック④奄美市西部ブロックから届きました。

ありがとうございます。

### 和泊町事務職員会

#### 和泊町立大城小学校 開田 真未

こんにちは、和泊町事務職員会です。和泊町事務職員会は小学校4名、中学校2名の計6名で構成されています。今年度は、メンバーの入れ替わりもなく昨年度と同じベテラン2名、中堅2名、新採2名で研修を行っています。

研修会は、年7回の町内研修、お隣の知名町と年3回の両町研修会を計画しており、毎年、和泊町・知名町合同で管外研修視察を行っています。昨年度は、曾於市、日置市、鹿児島市への視察を行い、共同実施の状況や学校予算、施設等について研修しました。今年度は、鹿児島市、霧島市の学校と互助組合への視察を予定しています。

本町は、今年度「時代に即した事務職員の資質向上」～町費事務の効率化・デジタル化に向けた研究～を研修テーマとして掲げていますが思うように進んでいないのが現状です。今後少しずつでもテーマに沿った研修ができればと思っています。

共同実施については、今年で2年目を迎え、今年度から教育支援にも少しずつ取り組み始めました。学校の規模や校内での業務内容もさまざまなため、各学校に即した教育支援（児童名簿作成、ホームページ作成、事務手続きやデータ作成、教科書事務、部活指導）に取り組んでいます。また、今年度から支援室独自の予算を組んでもらい徐々に設備を整えています。

これからも、お互いに協力し合いながら和やかに研修を行いたいと思います。

### 宇検村事務職員会

#### 宇検村立田検中学校 山崎 敬伍

こんにちは。宇検村事務職員会です。

宇検村は自然豊かな土壌に加え、教育活動に協力的な地域住民の方々に恵まれ、非常に過ごしやすいところです。宇検村のシンボルでもある湯湾岳には数多くの希少生物が群生しており、生物学術上においても重要な地域として認知されています。

宇検村には全部で8校の小・中学校があり、3名の事務職員で学校事務を運営しています。共同実施については、昨年度までは準備室でしたが、今年度からは岡元先生を室長に迎え、正式に支援室として運営をスタートすることになりました。比較的若年層が多かった宇検村事務職員会にとって、ベテランである岡元先生を迎えられたことは、非常に心強く感じているところです。

宇検村の共同実施は原則月2回、田検小学校の事務室で活動をしています。主な活動内容は、認定事務や例月業務の確認、支援室便りの発行計画及び、その他

事務に係る注意事項の確認や事務内容の研修を行っています。支援室内の雰囲気は極めて良好であり、各々の職員が意見交換をしやすい状況の中で有意義な研修の場として機能しています。まだまだ誕生したばかりの支援室ですが、より存在感のある支援室になれるように研鑽を重ねています。

また、近隣の自治体である大和村や、龍郷町の事務職員会とも連携をとっており、各々の事例や研修会のあり方を情報交換をしながら研修を深めています。

このように、少ない人数で運営している宇検村事務職員会ですが、お互いの連携を深めながら、宇検村の教育活動の充実のために日々業務に邁進しています。これからも宇検村事務職員会をよろしく願います。



※やけうちどんと祭りの中で開催された、船ごぎに参加しました！

### 奄美市名瀬東部地区事務支援室

#### 奄美市立大川中学校・事務主査 中村 律子

こんにちは、名瀬東部地区事務支援室です。

名瀬東部地区事務支援室（共同実施）は、名瀬中学校、奄美小学校、小湊小学校、大川小・中学校、崎原小・中学校の7校5人の事務職員で構成しています。そして、共同実施協議会の「拠点校」として指定された名瀬中学校の校長が会長となり、事務主幹（名瀬中学校）が室長となり「学校事務の共同実施」を運営しています。支援室の業務は「執務室」（奄美小学校・奄美小学校教頭が共同実施副会長）で行い、8月や毎月1回を除く水曜日の午後（14:00~16:45）で実施しています。しかし、小規模校があるので学校行事優先と決めています。

現在、実施計画書・年間計画表にそって、認定事務、旅費請求の事例研修、自主検査の相互点検（各学校で実施）、市費や就学援助費事務、支援室だより作成（各学期）等を行っています。学校規模、経験年数もさまざまなので、内容はその都度変更をして対応するようにしています。特に今年度は、新採の方がいるので、一つ一つの事務処理を、基本を確認しながら進めています。

3年目に入り、ますますの団結力と和やかな雰囲気の名瀬東部地区事務支援室です。今後ともよろしく願います。

## 奄美市名瀬西部地区支援室 奄美市立金久中学校 畑山 てるの

♪うがみんしょーらん♪平成24年度に支援室が本格実施され、3年目を迎えました奄美市名瀬西部地区支援室です。

今年度は、人事異動により2名の入れ替わりがありました。昨年度同様、経験値ではバランスのとれた構成で、10名の事務職員でのスタートとなりました。

本支援室では、月平均2回程度、共同執務室である金久中学校で業務を行っています。前述のとおり、10名構成という比較的大きい所帯ですので、特に、年度当始めの認定事務(85件程度)と四半期ごとの自主検査については、中学校区を基準とした上方地区(朝日中・朝日小・芦花部小中)、中央地区(金久中・名瀬小・伊津部小)、下方地区(小宿中・小宿小・知根小)の3校区の3校ずつに分け実施しています。そのほか、県費の給与、旅費事務や市費の需用費、備品購入費、就学援助事務における事例研修等を含め、支援室開設当初から引き続き、支援室だより(あかしょうびん)の発行、また、物品購入数の少ない小規模校の購入単価を落とす効果のある、消耗品の共同入札等を実施しています。

奄美市事務職員研修会で示された「共同実施組織のさらなる充実のため、各支援室相互の情報交換・データ共有を進める。～定期的な情報交換や相互チェックの実施により事務職員としての資質向上に努める～」という研修テーマ及びサブテーマのもと活動中ではありますが、本支援室においても、大規模校から極小規模校の範囲において、共通の業務としてできるものを検討しながら、どのような形で「教育支援」をすることができるか進めていくことが必要であると考えています。

月2回の共同実施ではありますが、認定事務に始まり、あらゆる分野で、毎回、特殊事例を含めた内容の濃い案件が多々あり、活発な質問等が飛び交う中にも、和やかに、楽しく気兼ねなく意見交換が出来る雰囲気です。

これからも支援業務を広げつつ、名瀬西部地区らしい共同実施ができるよう、10名の職員が一丸となって頑張っていきたいと思っています。今後とも、奄美市名瀬西部地区支援室を宜しく願いいたします。



## ～新規採用者の声～

### 奄美市立崎原小・中学校 鎮守 啓太

崎原小・中学校に新規採用として赴任して、約半年がたちました。振り返ってみると、あっという間だったような気がします。最初のころは、仕事が全く分からず、不安でいっぱいでした。しかし、東部支援室の先生方のお電話でのアドバイスや、学校まで足を運んでいただき、何とか年度初めの事務を乗り切ることができました。

支援室では、事務手続きの指導の他、先輩方の様々な体験談なども聞き、多くのことを学ばせていただいています。また、支援室以外の日も学校に伺って、いろいろアドバイスをいただいています。先輩方にいろいろと支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

学校では、子どもたちと昼休みに遊んだりして、子どもたちの笑顔にたくさんの元気をもらっています。浜おれや八月踊りなどの地域行事にも参加しながら、崎原小・中学校に赴任できたことを心から嬉しく思う毎日です。

まだまだ未熟者ではありますが、ひとつひとつを確実に積み重ねて、信頼される学校事務職員になれるように頑張っていきたいと思っています。



### ☆編集後記☆

○今月は、大きな台風が立て続けに来て、大運動会が延期になったり、停電をしたり等、大変だったのではないのでしょうか？もう台風は来ないでほしいです。今年、年末調整も給与システムでの報告となり、こちら、頑張ろう！！という感じです。

○今号は奄美市東部ブロックに編集していただきました。お忙しい中、ありがとうございます。

次号は、①伊仙町②奄美市笠利ブロック③大和村④龍郷町が原稿担当市町村となっていますので、よろしくお願ひします。原稿提出と合わせて、支援室だよりの提出もご協力いただけたら、よろしくお願ひします。○個人的な原稿等については、随時受け付けていますので、伊津部小学校・藤崎までお願ひします。

メールアドレス : itsubu-e@city.amami.lg.jp

(エルピー)

